

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第77号 2017年12月

発行人：吉田 博行 編集長：田島 順一郎 事務局長：安藤 孝

事務局：〒152-0002 目黒区目黒本町6-4-16 Tel 03-3716-7477

2018 年 新年会開催のご案内

2018年新年会を、1月14日(日)ホテル雅叙園東京にて下記の通り開催いたします。

新しい年を迎え、今年こそと飛躍を誓う方、家族の節目の行事に思いをはせる方、1年を無事に過ごしたことへ感謝される方、いろいろな新年があらうかと思いますが、共通するのは早稲田で学んだという一事です。目黒稲門会で集いあえば、あの青春の一時期に戻ることができます。

おなじみの方も、久しぶりの方もおいに飲み、語り合い、会の最後は皆で「都の西北」を高らかに歌いあげましょう。

アトラクションとして、早稲田大学箏曲研究会をお招きしています。うら若きワセジョによるお琴の演奏はまさに新春にふさわしい、華やかなものとなることでしょう。

また、山内 宏会員が参加しているオヤジバンドの演奏もあります。皆様がよく知っている、なつかしい曲が披露されるはずです。

皆様には新年行事等多多用のところでしょうが、ご家族おそろいで多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

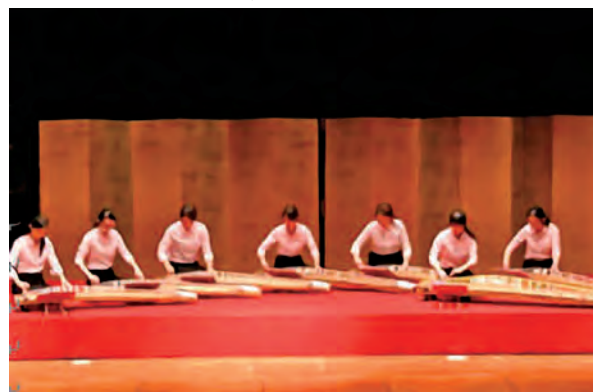
1. 日 時：2018年1月14日(日) 17時開会
(受付開始 16時30分)
2. 会 場：ホテル雅叙園東京3階「シリウスの間」
東京都目黒区下目黒1-8-1
電話 03-3491-4111
3. 懇親会：17時～19時
アトラクション 早稲田大学箏曲研究会
バンド演奏 めぐろオヤジフォーク
4. 会 費：会員10,000円、ご家族5,000円
当日会場受付にてお支払い下さい。
5. 同封の返信用はがきを、12月22日(金)までにご返送下さい。

(猪名川 記)

早稲田大学箏曲研究会

箏曲研究会は、総勢24人で活動する生田流の箏曲サークルです。毎週金曜日に、大師範の岩城弘子先生にご指導をいただいています。普段は早稲田祭や毎年12月に開催する定期演奏会などで、練習の成果を披露しております。

この度は演奏のご依頼を頂き、大変光栄に思っております。晴れやかな新年の場に少しでも花を添えられるよう、精一杯演奏させていただきます。よろしくお願いいたします。



(文化構想学部3年 細谷見月)

めぐろオヤジフォーク

めぐろオヤジフォークは、総勢約20名で2010年3月におやじのフォークを区民センターでデビューし、その仲間達をメインに構成されております。

フォークソング、歌謡曲、アメリカンPOPSなどの曲を各自でライブ活動したり、グループを組んだりして自主的に活動を進めています。

この度は演奏のご依頼を頂き、大変光栄に思っております。精鋭を選抜し、誰もが耳にしたことのあるフォークソングを精一杯演奏させていただきます。

私は、MCをメインに参画させていただく予定です。よろしくお願い申し上げます。

(山内 宏)

各 部 会 か ら の 案 内 ・ 報 告

囲碁部会

第17回稲穂会囲碁大会が9月17日(日)に新宿天元で開催され、目黒から4名が参加した。Cクラスで保井 正(34年政経)が優勝、Dクラスで梶 恵作氏(37年政経)が優勝し、永田耕治氏(36年政経)が3位でした。

9月定例囲碁部会で嬉しい事がありました。3年振りに蠣崎利郎氏(43年理工)が参加してくれた事、そして今年稲門会に入会された小岩一郎氏(57年理工)と市川 亘氏(51年商)の初参加です。おおいに盛り上がり時間を延長しました。初参加者からとても楽しい時を過ごさせてもらったとの感想をいただきました。

9月から秋季リーグ戦を6ヶ月かけて開催し、最多勝者を優勝者とする事にしています。

囲碁部会長 保井 正

俳句部会

第99回 萩句会報告

日時 2017年10月9日(月)14時～17時

(順不同)

川井素山	もみ殻の林檎探しを懐かしむ
保井寶正	耳朶や秋夕焼に透きとほり
青木英林	吊し柿山里の古家彩れり
佐久間喬	赤々と霜みるまでの柿すだれ
丸山酔宵子	日が落ちて一人塩ふるきぬかつぎ
菊地崇之	身豊か女心に秋思ふ
佐伯兵庫	うそ寒や昼のネオンの地下通路
吉田啓悟	この秋思みんな年金暮らしです
山本草風	アスリート覇気 迸り秋盛ん
渡辺鯨波	漱石の旧居に落とす愁思かな
澁谷瑠璃	彼岸花転生だけを待ち詫びる
石川智子	風吹けば吹かるるままの秋思かな
原 晶如	百歳の回転木馬良夜かな
青葉ひかる	秋思秘め逝きし妹いずこ

最近女性の会員の方が増えました。

大変新鮮な感覚で詠まれるので、ベテランの方々が感心されています。

俳句が初めての方大歓迎です。

今月の一句

百歳の回転木馬良夜かな

中原主宰の評

遊園地の閉園後、百年もの間愛されてきた回転木馬が、月のきれいな秋の夜に静かに見えている。見ている人は、歴史ある木馬から色々な思いを感じとることができる。

俳句部会長 佐久間 喬

ウォーキング部会

今年の夏は非常に天候が不順で体調維持に苦労されたと思いますが、この冬も例年よりきびしくなりそうです。体調に気をつけて元気に楽しく皆様と歩きましょう。特に初参加、女性の方大歓迎です。

活動報告と今後の予定をお知らせいたします。

実施報告

8月例会 哲学堂から新井薬師まで
(7月例会続き)

日時 8月30日 参加12名

9月例会 国分寺崖線を歩く

日時 9月19日 参加14名



10月例会 三溪園

日時 10月17日 参加15名

今後の予定(小雨決行)

11月例会 田園調布から多摩川園

日時 11月21日(火)午後1時

集合場所 東横線田園調布駅改札外

12月例会 豪徳寺から世田谷代官屋敷まで

日時 12月19日(火)午後1時

集合場所 小田急線豪徳寺駅改札外

1月例会 浅草七福神巡り

日時 1月5日(金)午後1時

集合場所 東武線堀切駅改札外

2月例会 樋口一葉が過ごした吉原、竜泉を歩く

日時 2月20日(火)午後1時

集合場所 JR 鶯谷駅南口改札外

参加される方は下記まで連絡下さい。

牧野携帯 090-9649-6868

ウォーキング部会長 牧野武夫

麻雀部会

10月16日(月)、第69回定例大会は武蔵小山サンで開催され、12名参加しました。優勝は千野氏、準優勝は松尾氏、3位は小倉氏でした。

第70回年末大会は12月11日(月)サンで12時30分開始で開催されます。引き続き「井門」で忘年会です。皆様、奮ってご参加下さい。

麻雀部会長 鵜野洋治

カラオケ部会

第180回目の部会は10月13日(金)に、定例の会場コートダジュール学芸大学店で行われ10人の参加を得ました。参加人数がなかなか増えないのは残念ですが、一人の歌手専門に唄われる方、90歳を過ぎても最近の若手の歌手の歌を唄われる方等々様々です。

カラオケ部会長 奥村忠男

さん月会

8月21日開催例会より「やるき茶屋」都立大学店から自由が丘店に変更となりました。開催店は、自由が丘駅から徒歩1分と近いので参加者もスムーズに来店しています。

8月～10月の参加者数は、各月16名でした。

さん月会部会長 岩崎春雄

美術・歴史鑑賞部会

第67回は9月6日(水)丸の内にある三菱一号館美術館中庭に10時集合・17名で『レオナルド×ミケランジェロ展』を鑑賞しました。15世紀イタリア画家として才能を発揮し、建築、科学、解剖学の分野まで関心を広げ「万能人」と呼ばれたレオナルド・ダ・ヴィンチ。10代から頭角を現し「神のごとき」と称された世紀の天才彫刻家ミケランジェロ・ブオナローティ。二人の天才の素描、油絵等やトリノ王立図書館やカーサ・ブオナローティの所蔵品を中心に約65点の作品を堪能しました。

昼食は美術館横のビルの3階にあるイタリアンレストランでランチコースを。

第68回は10月18日(水)上野にある東京芸術大学美術館入口前に10時集合・12名で『素心、伝心―シルクロード特別企画展・クローン文化財・失われた刻の再生』を楽しみました。東京芸術大学は劣化が進行しつつある、或るいは永遠に失われてしまった文化財の本来の姿を現代に蘇らせ、未来に継承していくための試みとして、文化財をクローンと

して復元する特許技術を開発しました。

復元されたアフガニスタン・バーミヤン壁画「天翔る太陽神」、中国敦煌莫高窟第57窟、北朝鮮高句麗江西大墓の壁画(玄武、青龍、朱雀、白虎)、ミャンマーのバガン遺跡の壁画等。特に展示会場入口で出迎える法隆寺釈迦三尊像の3D技術を用いての再現と焼損壁画に感動しました。



昼食は上野公園内にあるイタリア料理店「レ・クアトロ・スタジオーニ」でランチコースを。

第69回は11月15日(水)に上野公園内にある国立西洋美術館『北斎とジャポニスム―北斎が西洋に与えた衝撃』を鑑賞予定です。

美術・歴史鑑賞部会長 後藤克彦

若木会

・大福ランチ会 8月20日(日)

都立大学駅イタリアンの名店「ドーロ」のランチを囲み、早慶若手会(大福会)を開催しました。参加者は早慶合わせて16名(最年少1歳)、早稲田大学の現役留学生も参加し、話題の尽きない楽しい会となりました。恒例行事として今後も開催することを約して、午後3時過ぎに散会となりました。



・第2回目黒シティラン 11月26日(日)

目黒稲門会は、昨年同様このイベントを盛り上げるため若木会とスポーツ観戦部会の主導で参加者を募り、月一回の練習会を応援で来ていただいている先輩方含め鋭意準備中です。

若木会部会長 中西元樹

食べ歩き部会

目黒稲門会恒例の新そば会を9月29日（金）、参加者12名と、10月6日（金）参加者14名で開催しました。「そば尽くし」を堪能しました。



松茸そば



揚げそばがき



そば寿司



かき揚げ・もりそば



更科そば



アイスクリーム



食べ歩き部会長 猪名川一雄

新そば会に初参加

澁谷瑠璃（平成22年 二文）

透き通るような美しさのおそばを食べたのは、これが初めてのことでした。

そばに関する知識が乏しい為か、そばというと、思い出すのはグレーがかった濃い色の麺。いわゆる

盛りそばである。更科堀井さんでも、盛りそばを堪能させていただいた。しかし、盛りそばに加え更に登場したのが、なんと暖かな陽だまりのような黄色味がかった麺と、半透明の白魚のような乳白色の麺。

つゆにつけてすすると、口の中にはつるっとした感触と、噛みごたえのある程よい弾力の麺が踊る。

この二色の麺は、どちらも更科そばであるとの事。

更科そばとは、一番粉と呼ばれる色白のそば粉を原料として作られている。そばの実を挽いた際に、一番最初に出てくる胚乳の中心部分のみを集めたものである。そのため色のついた甘皮が混ざることがなく、真っ白なそばになる、という仕組み。

それではほんのり黄色の麺のそばは、どうやって作られているのだろうか？気になったので店主の堀井さんにお伺いしてみた。その答えは、なんと食用の菊の花を真っ白な更科そばに練り込んでいるとの事。「季節の変わりそば」という名前で、その時期ごとの旬の物を取り入れている。

他のシーズンには、例えば3月は桜が、5月にはよもぎ、12月は柚子といった具合。そして気になったのは6月のトマト。味も色も気になる。季節を感じながら、カラフルな更科そばを思わず全制覇したくなってしまう。

ゴルフ部会

第41回ゴルフ部会は10月25日（水）、静岡県富士ヘルスカントリークラブで行われました。参加者は20名。雨のため、ハーフのプレーを終えたところでサスペンドとなりました。半年前から計画したのに残念です。

それでも帰りのバスの中は、いつもの通り賑やかにゴルフ談義で盛り上がりしました。

次回は、来春4月25日（水）、場所も同じ富士ヘルスカントリークラブで開催いたします。



ゴルフ部会長 大杉邦雄

会員の広場

人生いろいろ



山内 宏(昭和56年 教育)

目黒稲門会の皆様、お世話になっております。昭和56年教育学部－理学科－地学専修卒の山内 宏と申します。学生時代は、北海道、逗子・葉山界隈の地質調査、鉱物の物理・化学的な分析等を勉強致しました。部活は、写真部に属しており当時は、商学部地下の非常に薄暗く環境の良くないところで活動していました。早稲田祭にも何回か写真展示、上智大学と合同写真展をやったことが、当時の最高の思い出でもあります。早稲田祭は、当時はまだ革マルの祭典の場ということで、学園祭委員長との折衝、場所取りは結構重たい調整だった記憶がございます。学業の成績は、中の中位でしょうか。父が19歳の時他界、母も病弱であり長男でもあったので、地方には行けない事情で横浜に研究所・工場がある日本カーボン(株)に就職しようと決め入社致しました。研究所に配属となり当時、最先端といわれた炭化ケイ素繊維の製造及び研究開発に携わることとなり、ここでは、大学時代には経験したことのない、繊維の紡糸技術やら焼成技術を学びながら日々格闘しておりました。幸い当時から35年ほどの月日を得た今、航空機用エンジン部材セラミックスとして脚光を浴びております。仕事は、大変面白かったのですが29歳で結婚し、目黒から通勤しておりましたが、工場及び研究所が富山に5年以内に移転されるとの情報を得、会社の景気も悪くなり先行きが見通せないと判断し31歳の時、思い切ってトラバークして運よく日産自動車(株)の宇宙航空事業部に入社することができました。研究開発センターの所長さんが理工学部の大先輩で、「お前日産に来るか〜はい、よろしく願い申し上げます」で、ほぼ決まってしまったような・・・非常に幸運でした。日産での仕事は、固体ロケット(H2A、M-V)のエンジン部材、炭素繊維強化/炭素複合材料の開発に従事、H2Aの固体ロケット開発は、非常に大変で苦しみましたね。直接的な原因ではないと思いますが、過労がたたって1996年の正月に自衛隊中央病院に担ぎ込まれ、腎不全で4か月の闘病生活を送りました。この時は、さすがに辛かったですね。以降30機程(6号機失敗の除けば)ほぼ順調にロケットが打上がっているのは、自身の誇りでもあります。さらには、M-Vもエンジン部材を担当し、5号機の「はやぶさ」を打上げたロ

ケットを開発したことが、サラリーマン生活での最も大きな業績かと(社内外の賞をいただきました)。これらの仕事以外は、あまりパツとした業績を上げられなかったことも、少しだけ悔しい限りではあります。退職した今は、色々なことにチャレンジさせてくれた会社及び仲間に感謝している次第です。日産に属しておりましたが、業績が悪化し宇宙航空事業部ごと2000年に当時の石川島播磨重工業(株)に事業譲渡され、私も転籍して(株)IHI エアロスペース(富岡)に出向となりましたが、一貫してロケットエンジン他の耐熱材料開発に昨年末定年退職するまで従事致しました。長いようで短かった会社員生活、辛かったのは、富岡まで往復6時間の通勤で、さすがに60歳以降も続けるのは抵抗があり、スパッと会社を辞めました。しかしたまには、顔を出したいなとも富岡で開催のロケット祭りか工場見学をいつか皆様と企画したいとも。宜しく願い申し上げます。尚、現在は科学技術コンサルタントとして新たな一歩を歩みだそうとしております。

趣味は、45歳から始めたピアノ、ショパンの「雨だれの前奏曲」、バッハの「プレリュード」を良く弾きます。9月には、区民センターで発表会があり「ソナチネ20-1」で参ります。ギターは、15歳からやっております個人演奏では「パッヘルベルのカノン」を良く弾きます。バンド活動では、チューリップやらスピッツの曲及びフォークソングを即興バンドでやっておりますボーカルもやります(写真：都立大学のライブハウスにて)。さらには、テニスでは、目黒テニススクールで1週間に1回レッスンを〜テニス歴は10年以上ですが、あまり上達しません。その他、大学時代に学んだ地球科学を再勉強、気ままな写真撮影活動。最近、釣りも楽しんでおります。今後は、目黒稲門会で微力ながらもお力になりたいと考えており色々な部会にも顔を出させていただきまします。若輩者ですがよろしくお願い致します。尚、宴会事は大好きですが、お医者様から飲み過ぎに関しては、何度も注意を受けており程々をこころがけたいなど。でも気軽に声掛けください、楽しい話題を共有したいなど。宜しく願い致します。ニックネームは、やまちゃんかDionです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



両親から教わった早稲田と友達の素晴らしさ

田添麻友（平成17年 政経）



私は大学受験において、早稲田大学政治経済学部しか受験していません！というのも、一般入試より早い12月にAO（アドミッションオフィス）入試という選考で合格しているため、他を受けることがなかったからです。もちろん、早稲田大学を第一志望に一般入試に向けても勉強していた早稲田好きでした。

では何故、私が早稲田大学を目指していたのかというと、両親の影響が大きいです。父は早稲田大学商学部出身、そして母は日本女子大学家政学部出身です。両親の出会いは大学の「自動車部」の交流でした。両親からは大学で真面目に勉強した話を聞いたことがありません。「自動車部」のラリーやフィギュアという自動車での競技の話、また父は「自動車部」の部室がある理工学部キャンパスにばかりいたことなど、一般的には親が子どもに自慢するようなことではありませんが、楽しそうに話してくれました。そして、母はずっと「いい大学に行けば、いい友達ができる」と言い、勉強を頑張るよう勧めてくれました。このような両親に育てられ、自然と早稲田大学に行きたくなりました。

さて、入学してからの話に移りますが、入学式から数日間、構内はあらゆるサークルの勧誘で溢れかえっていました。いろいろ見学して、最終的に私は学術サークルの一つ「外政学会」に入りました。先述したAO入試では、大学で何を学びたいかを問われるのですが、私は環境問題を解決するために経済の観点から取り組みたいと宣言していたので、同じく環境に関心を持つ先輩がいるそのサークルに決めました。具体的な活動は、テーマ別に部会を立ち上げ、リーダーが選定した図書を輪読するというもの。私はもちろん環境問題部会、他には国際政治、日本経済などがありました。また、毎週金曜日に誰か一人が自分の研究テーマについてレジュメと論点を用意し、ディスカッションするという活動もあります。このディスカッションは、論破するものでもなく、互いに好きなことを言ってよしとされていたように思います。結論はいつも、「飲みに行って、議論の続きをしましょう。」でした。生まれも育ちも目黒の私にとって、全国から集まった仲間の話しは、とても新鮮でした。議論が盛り上がる中、私はいつも自宅の門限12時に間に合うように飲み会を後にし、早稲田から高田馬場駅まで走り、油面の自宅へと急いで帰りました。何度か門限を破り怒られました。

た。その当時は疎ましく思ったものですが、母は心配して必ず起きて待っていてくれたこと、親になった今は反省と感謝の気持ちです。サークルの仲間とは、いろいろな場所に旅行にも行きました。一度、スキー旅行の集合場所にスーツ・革靴で現れた仲間がいます。スキー旅行があることをすっかり忘れていて、スーツで勉強会に出席したあとに思い出し、そのまま来たとのこと。なんとも自由な人がいるものだと驚きました。このサークルは、国連の学生部の活動もあり、私は南アのヨハネスブルグで開催された国連の「Sustainable Development Summit 持続可能な開発会議」という2002年ブラジルのリオで行われた地球サミットの10年後のフォローアップ会議に参加し、国際政治を肌で感じました。

ゼミでも様々なことを学びました。私は、「開発経済学」や「平和学」をテーマとする西川 潤ゼミに入り、フィールドワークでブータンやインドを訪れるなど、アクティブな研究活動に関わりました。寝食を共にしたゼミの仲間とは短い期間でも非常に仲が深まりました。3号館近くのベンチや中庭で卒論のテーマについて話し合ったり、我が家に集まってそのまま泊まったり。門限に厳しい我が家ですが、友達が来ることには寛大で、我が家は溜まり場と化していました。昨年、母が亡くなった時には、葬儀に多くの友達が駆けつけてくれ、母が振る舞ったご飯は美味しかったと偲んでくれました。私が小さかった頃、よく両親の大学時代の友達が遊びに来て、飲んで騒いで泊まって行ったことを思い出し、親子二代で友達に恵まれたのだと思います。

（卒業式の日、3号館前で西川教授と私）



（卒業式の日、3号館前で西川教授と私）

サークルやゼミの友達はお互い忙しくしていますが、結婚式などで再会し、互いの近況を報告しあっています。後輩には政治経済学部で助教をしている者や、早稲田大学の事務局で働いている者もあり、様々な形で早稲田大学に関わり続けています。「いい大学に行けば、いい友達ができる」という母の言葉の通り、いつでも語り合える友達ばかりです。そして今、目黒で語り合える大先輩にお会いすることができ、やはり早稲田大学で学び、卒業してよかったと実感しています。

目黒わが町自慢

八雲 小杉 哲（昭和41年 理工）

『八雲』は、「やくも」と読み、「やぐも」のように濁りません。昭和39年に当時の衾町・宮前町・中根町・大原町・芳窪町の各一部から成立した、1～5丁目からなる人口約1.5万人の町です。ここには現在9名の会員が住んでいます。

『八雲』という名称は当初「衾（ふすま）町」とする予定だったが、「衾」の字が当用漢字外ということで当地にある『八雲小学校』（当時の八雲学校）の名からこれを地名としたとのこと。八雲小学校は区内に22ある区立小学校で最初にできた小学校です（1874年開校）。八雲小学校の名前は近くにある『氷川神社』に奉られている素戔鳴尊（すさのおのみこと）が詠んだ「八雲立つ出雲八重垣妻ごみに八重垣つくるその八重垣を」（日本初の和歌とされる）を由来とした由。

最寄り駅の一つは東急東横線都立大学駅です。以前ここに東京都立大学（現在の首都大学東京）がありましたが、隣の学芸大学駅同様この地には駅名の元となった大学はもうありません。その跡地に平成14年9月『めぐろ区民キャンパス』がつけられました。めぐろ区民キャンパスには、めぐろパーシモンホール、八雲体育館、八雲中央図書館、セレモニー目黒（葬儀式場）およびあいアイ館（身障者センター）等の施設および公園があります。



めぐろパーシモンホールは区内最大の文化ホールで、八雲の1丁目1番地にあるのになぜか区の公式資料では『目黒区柿の木坂に位置』とあり、八雲の一住人としては看過できないので、目黒区文化・交流課にクレームしたら修正されることとなりました。「パーシモン」は「柿」の英語名ではありますが、そんなことを言っておられません（笑）。八雲体育館にはバレーボールや卓球等に使用できるいわゆる体育館だけでなく、スポーツジムに似たトレーニング室があり、朝9時から夜10時まで300円（65歳以上は150円）で利用できます。八雲中央図書館は区内の8図書館で最大の規模で、地下1階にありますが外の気配が感じられるワンフロアで段差の無いバリアフリー設計になっています。

上目黒 保井 正（昭和34年 政経）

私はけこぼ坂上の上目黒2丁目に生まれ、戦前、戦中、戦後を過ごしてきました。けこぼ坂は正覚寺から中目黒小学校と目黒区総合庁舎の間を通り、祐天寺に上がる坂道である。現在の駒沢通りの一部である。坂の傾斜を緩めるため切通し工事を行ったが、両側の土手の赤土がむき出しになり、崩れやすい状態であったという。こうした赤土がこぼれる状態を「けこぼ」といい。それが坂名になったという。

この坂道の上目黒側に消防署と目黒区総合庁舎と天祖神社が並んでいる。裏側に伊勢脇通りがある。目黒区総合庁舎は昔は浅海牧場の跡で昭和になりアメリカンスクールが出来た。昭和20年の3月10日の空襲の頃にはアメリカンスクールがあったため、あの一画には焼夷弾が落とされず、わが家は焼け残った。そして戦後に千代田生命保険会社が出来た。



天祖神社では近所の子供たちと野球チームを作り、目黒区の大会に参加した。その頃社殿の前に天に聳立する古松があり、東京市内の老樹名木に指定され、幹の周囲一丈一尺五寸余、高さ百天の余あり、数百年のものと。私はこの松の絵をかき図工に提出した。しかし枯れて今はもうない。

伊勢脇通りは今は目黒銀座通りで伊勢脇通りというのはお伊勢様（天祖神社）の脇の道だからといわれている。伊勢脇通りの南半分は天祖神社の氏子で、北半分は中目黒八幡神社の氏子でお祭りも二つに分かれる。私は天祖神社の氏子である。

目黒区総合庁舎はかつて千代田生命保険会社の本社ビルでした。日本の高度成長期における建築家村野藤吾の代表作の一つとして知られている。私は南口玄関棟のエントランスホールが大好きです。非対称の壁の空間のマジックを一度味わって戴きたいと思います。正門から南口玄関までの石畳は主に車での来客を迎えるために使用していたそうです。今は「中目黒しぜんとなかよし公園」と併存している。目黒川は散歩道として、春の爛漫の桜、秋の錦朱の落葉ともに大変気に入っている。

会員ギャラリー

「鴨川東條海岸の朝霧」 F12号 水彩

岩佐好恭（昭和34年 法）



外房の鴨川には二つの海岸があります。

一つは JR 鴨川駅の改札口を出た前の道を海岸に向かって海に通じる道の右側に広がる「前原海岸」と、もう一つは鴨川駅から線路沿いに300メートルほど東京に向かって戻ったところにある「東條海岸」です。前原海岸は「日本の海岸百選」にも選ばれている綺麗に整備された海水浴場ですが、東條海岸の方は海と砂浜があるのみですが、こちらの方は遙か水平線のかなたまで見通すことが出来ます

私は、早朝の日の出直前から日が昇るまで間、日の出の光の変化を見守るのが大好きですので思い切って画の対象として出品しました。

本作品は第26回(2017年)全日本アートサロン絵画大賞展入選作です。

新入会員



市川 亘（昭和51年 商）
（目黒区柿の木坂在住）

はじめまして。市川 亘と申します。台東区出身です。

現在、大手町の船会社に勤務しておりますが、来年7月に退職予定です。その為、現在、退職後の次の人生を模索しているところです。

入会の動機は、その模索の一環です。学生時代、会社員時代とは異なる新時代を築きたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

お悔やみ申し上げます

伊藤源喜(昭和29年 理工)
平成29年 3月 7日(86歳)

※期間：平成28年11月1日～平成29年10月31日(敬称略)

校友会便り

ホームカミングデーと稲門祭

村山 弘（昭和44年 法）

本年も10月15日(日)に2017ホームカミングデーと2017稲門祭が開催されました。ホームカミングデーの記念式典は、従来は記念会堂で対象者全員が入場できたものですが、2015年から早稲田アリーナ建設工事に伴い、2018年まで大隈講堂に会場が変更されて、しかも式典参加は卒業後45年目、50年目の方の抽選による入場となっています。また、私のように卒業が遅れた人のために、20年前頃(?)から入学が一緒ならば卒年は関係なしという制度に変わっています。卒業後15年・25年・35年・45年・50年を迎えた校友に案内状が出されますが、幸いにして、私は卒業後50年に該当し、抽選の結果、式典に参加できました。式典の最後に校歌斉唱がありました。私は、今夏、糸魚川の相馬御風宅を訪れて、24才(明治40年)、大学25周年の時に「都の西北」を作詞したことを知りました。氏は1年前に大学を卒業したばかりですから、歌詞には当時の気風が詰まっていると感じながら歌いました。

式典終了後、稲門祭オープニングセレモニーが行われました。(実際には、キャンパス内では10時から始まっています。)目黒稲門会会員有志は、例年でしたら、当日の昼頃から、大隈庭園の芝地に三々五々集まり、福引抽選が始まる頃まで、野外演奏会を楽しみながら、周囲にある各地稲門会出展による模擬店から調達しての飲食が続きます。本年はあいにくの空模様で、2013年の大雨に続いての芝地での飲食が叶いませんでした。キャンパス内では、各種展示や稲門音楽祭・稲門合唱祭の音楽団体OB・OGの演奏もあり、稲門祭案内プログラム片手に夫婦連れ、親子連れも多く見受けられました。

稲門祭の記念品の売り上げを含む稲門祭の収益は全額「校友会奨学金」となり学生の支援に充てられています。記念品売り上げの割当をクリアしますと、校友会から組織強化対策費が給付されまして、若手会員育成への援助や会員獲得対策等に使われています。是非、福引付記念品の購入にご協力ください。